

《千代田区キャンパスコンソ》 いつ起きてもおかしくない 首都直下型地震から命をどう守るか

令和6年は能登半島で発生した自然災害から明ける年となりました。「首都直下地震」が発生したら、多くの死傷者や数百万人の帰宅困難者が発生すると予測されています。

千代田区は大学と協定を結び、各大学は大規模災害時には帰宅困難者となった在勤者等を一時的に受け入れることになっています。

そこで、本学でも、千代田区内近接大学の高等教育連携強化コンソーシアム(通称：千代田区キャンパスコンソ)に加盟する5大学2短期大学は、令和3年から「千代田学」における共同事業提案として、「帰宅困難者支援施設運営体験ゲーム(KUG)」の開発・研究に取り組んでいます。



今回行う帰宅困難者支援施設運営体験では、防災の専門家をお呼びして教職員、学生に加え、地域の方々と、支援施設の運営に携わることとなった場合を想定し、KUGを使い図上にて模擬体験を行います。ご参加ください。

○令和5年度 帰宅困難者支援施設運営体験ゲーム

1. 実施日時 令和6年2月24日(土) 13:30~16:30
2. 実施場所 東京家政学院大学 1号館3階 1303教室
3. 対象者 本学の教職員・学生、千代田区キャンパスコンソ加盟大学教職員・学生、地域住民
4. 実施内容
 - ①首都直下地震への備えと帰宅困難者対策
～千代田区内大学20年の取り組みを踏まえて～
宮崎賢哉 氏(災害支援・防災教育コーディネーター/社会福祉士)
 - ②備蓄倉庫の見学
 - ③帰宅困難者受け入れ施設の見学
 - ④帰宅困難者支援施設運営ゲームの体験
 - ⑤講評 東京家政学院大学 人間栄養学部 教授 酒井治子
5. 申込方法 2月21日(水)までに、QRコードからお申込み願います。

<https://forms.gle/rJ7bj1EwPgCaL9wYA>

《申込先》 東京家政学院大学 学術・社会連携室(千代田三番町)

田中・荒井 03-3262-2879

kyouken@kasei-gakuin.ac.jp

